

## 御挨拶

国際交流推進室ニュース第20号をお届けします。近年の気候変動により本州への台風直撃が多くなってきた今日、台風19号は私どもの長野県を直撃する形となってしまいました。繊維学部近くを流れる名流千曲川はあっという間に増水し、上田市の一つのシンボルである上田電鉄の鉄橋の落下、長野市北部の河川決壊の決壊など、甚大な爪痕を残していきました。本ニュースをお読みいただいている方、関係される方の中にも災害に直面された方がおられると思います。心よりお見舞いを申し上げます。学内関係者においては、学生・職員の中に被害を受けたものがおりましたが、当学部に所属する留学生は全員何事もないという報告を受けております。結果としてホッとすることはありますが、彼らが受けた心配を考えると、このような大きな災害が発生・予見する際、彼ら留学生へどのように伝わっていたのか、またどのように対応をしていたのかを調査し、今後の留学生への対応に活かすべきかと考えております。

暗いニュースはありましたが、東京オリンピックをはじめ、新たな出来事・出会いが待つ2020年が間近にきております。本ニュースをお読みになっている皆様にいただきましたご支援に感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。最後に、みなさまにとって新しい年が素晴らしいものとなりますことを祈念申し上げます。

## 学内行事

### [亜東技術学院より学長一行の6名が来訪]

8月1日、台湾の亜東技術学院学長一行8名の表敬訪問を受けました。一行は、今後の交流協定締結の可能性や、繊維学部への学生の留学等について、下坂学部長、平林国際交流推進室長、鮑教授と意見交換を行い、また、繊維学部の施設見学を行いました。



### [ウェスト・アッティカ大学より Ganetsos Theodore 教授が来訪]

7月28日～8月2日の一週間、学部間交流協定校であるギリシャのウェスト・アッティカ大学から、Ganetsos Theodore 教授が田中稔久先生との共同研究のため来訪しました。今回の来訪は、繊維学部とウェスト・アッティカ大学が共同採択されたエラスムス・プラス・プログラムの支援によって実現しました。Gkanetos 教授は7月29日に行われた平林国際交流推進室長と高寺教授との懇談会で、エラスムス・プラス・プログラムを利用したの、両大学の今後の更なる交流について意見交換を行いました。

### [インドネシア パスダン大学関係者一行の来訪]

9月13日、インドネシアのパスダン大学の教員・学生21名、および同大学と提携している元氣学園(静岡市)の運営スタッフ、上田市職員1名の来訪を受けました。

パスダン大学が位置するバンドン市は、もともと繊維の街として栄えたという背景もあり、先進的な繊維研究を進める信州大学繊維学部を視察したいとの先方の希望から、上田市を通して依頼があり、今回の来訪が実現しました。一行は、小林国際交流推進室副室長より繊維学部の歴史や教育・研究についての紹介を受けた後、今後のパスダン大学および信州大学両校の交流の可能性について意見交換をし、繊維学部のキャンパスおよび講堂の見学をしました。

### [中国南通大学紡織服装学院より徐山



**青 前院長一行が来訪【2019年9月19日】**

学部間協定校である中国南通大学紡織服装学院から、徐山青 前院長、高強 教授、季教授、孫啓龍 准教授の4名の来訪を受けました。孫啓龍 准教授は、信州大学大学院(繊維学部キャンパス)で博士号を取得されたOBです。今回の来訪目的は、下坂学部長表敬訪問、繊維学部 Fii 施設の見学、熱・メディカル防護服・複合材料関係の教員との研究打ち合わせです。午前中の下坂学部長表敬訪問、そして、学部長、平林国際交流推進室長、小林副室長、鮑教授、朱先生、そして繊維学部留学中の南通大学出身の学生達を交えての懇談会は、大変和やかな雰囲気で行われました。両大学の交流の歴史を振り返り、結び付きの強さを確認するとともに、今後の更なる交流や協力についても意見交換が行われました。

今回来訪した孫啓龍 准教授は繊維学部の卒業生です。懇談会の後、一行はキャンパスツアーに参加し、午後は研究室見学及びディスカッションを行いました。



博士課程、研究生含む)の留学生の総数は、94名となりました。

**繊維学部への留学状況(課程と出身国) 2019.12**

博士課程	33	中国	51
修士課程	22	ベトナム	11
学部	21	韓国	6
研究生等	18	パキスタン	6
計	94	マレーシア	4
		台湾	3
		モンゴル	2
		モロッコ	2
		タイ	2
		インドネシア	2
		イラン	2
		フランス	1
		ドイツ	1
		バングラデシュ	1
		計	94

**留学生代表ご挨拶**

私たち留学生への信州大学繊維学部外国人留学生支援の会の温かいご支援、心から感謝申し上げます。

上田キャンパスには様々な国から来た留学生がいます。留学生の皆が夢と不安を抱えながら日本に来ています。外国人留学生支援の会の助けを借りて、留学生の皆が心配なくて有意義な学生生活を送ることができています。卒業してからも大学で学んだことを忘れず、母国と日本の関係を深められるよう、尽力したいと考えております。

最後になりますが、今後とも、感謝の気持ちを込めて、信州大学繊維学部外国人留学生支援の会のご支援に恥じぬよう、残りの学生生活を真摯に送って参りたいと考えております。本当にありがとうございました。

繊維学部留学生代表 莊 瑀珺(ソウウクン)

**国際交流推進室 室員紹介**

- 平林公男(室長、応用生物科学科)
- 金 翼水(副室長、機能機械学コース)
- 小林俊一(副室長、バイオエンジニアリングコース)
- 鮑 カ民(機能機械学コース)
- ハニウッドマイケル(感性工学コース)
- 平田雄一(応用分子化学コース)
- 福長 博(ファイバー材料工学コース)
- 若月 薫(機能機械学コース)
- 金 隼屋(感性工学コース)
- 朱 春紅(先進繊維工学コース)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス (fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>

**繊維学部留学生の動向**

2019年9月25日に学位授与式が開催され、2名の博士課程学生を送り出しました。

10月には、2名の博士課程学生、3名の修士課程学生、17名の研究生、12月には、2名の研究生を迎える予定となりました。

12月現在の繊維学部(学部生、修士課程、